

年 組 名前：

問1

「自然を守る山仕事 森林・林業体験教室」は、何を目的として、開催されましたか。

.....  
.....

問2

体験教室の参加者は、何を学び、何を体験しましたか。

学び .....

.....  
.....

体験 .....

問3

林業組合の中田さんは、自然環境を守るためには、何が大切と話していますか。

.....  
.....  
.....

上野原市は同市櫛原のゆずりほら青少年自然の里で、林業などについて学ぶ「自然を守る山仕事 森林・林業体験

間伐通じ林業学ぶ

上野原 きょうまで体験教室



教室」を開催した。1日には県内外から親子連れ14人が参加した。北都留森林組合の組合員が講師を務め、市内の面積のうち8割を森林が占めていることや、シカによる樹木への被害状況などを解説。間伐作業も体験し、参加者はのこぎりを使って樹齢40〜50年のヒノキの木を切

間伐を体験する参加者 上野原市櫛原 教室」を開いている。桂川・相模川流域の森林保全について興味を持ってもらおうと初めて開催した。 1日には県内外から親子連れ14人が参加した。北都留森林組合の組合員が講師を務め、市内の面積のうち8割を森林が占めていることや、シカによる樹木への被害状況などを解説。間伐作業も体験し、参加者はのこぎりを使って樹齢40〜50年のヒノキの木を切

り倒した。千葉県から親子で参加した蔵治房直君(9)は「木が堅く切るのが大変だったが、のこぎりで挑戦できて楽しかった」と感想。北都留森林組合の中田無双さん(55)は「豊かな自然環境を守るためには桂川・相模川流域の人たちが協力することが大切。体験教室が森林保全に興味を持つきっかけになればと話していた。体験教室は5日まで開催。計約60人が参加する。 <深沢澤>

り倒した。千葉県から親子で参加した蔵治房直君(9)は「木が堅く切るのが大変だったが、のこぎりで挑戦できて楽しかった」と感想。北都留森林組合の中田無双さん(55)は「豊かな自然環境を守るためには桂川・相模川流域の人たちが協力することが大切。体験教室が森林保全に興味を持つきっかけになればと話していた。体験教室は5日まで開催。計約60人が参加する。 <深沢澤>

(2022年8月5日付 山梨日日新聞 26面)